

事業計画抜粋

社会福祉法人双葉会事業計画

I 基本方針

今年度は昨年度に続き、1.感染症や災害への対応力強化、2.地域包括ケアシステムの推進、3.自立支援・重度化防止の取組の推進、4.介護人材の確保、介護現場の革新、5.制度の安定性・持続可能性の確保、これらを中心に全役・職員が一丸となって運営を進めてまいります。

特に、長期化する新型コロナウイルス感染症の感染状況下において、円滑な運営ができるよう BCP（事業継続計画）の見直しと強化を進めているところであり、利用者・園児・患者の皆さま方が安心して利用できるよう各事業所とも努めてまいります。

また、琴清苑については、新しい建物設備と定員数での運営を軌道に乗せることを目標に事業の展開を進めてまいります。

さらには、深刻化している介護職員の人材難、待機者の激減等々と課題は山積していますが、より良い福祉サービスの提供、町内居住者の雇用の確保、新卒者を含めた若年層の専門職育成、EPA 介護福祉士候補生・外国人介護技能実習生の受入れ・育成に努めてまいります。

氷川保育園、双葉会診療所においても、感染症予防対策をはじめ労働環境、安全環境管理の向上を推進いたします。

双葉会診療所事業計画

I. 理念

「心の医療と福祉」人権を尊重し、安全・安心・信頼の医療・介護活動を提供する。

II. 医療の目標

- 1.患者に信頼される、医療提供に努める。
- 2.患者が安心して医療を享受できる環境整備に努める。
- 3.協力医療機関との連絡を密にし、地域医療の充実に努める。

III. 基本方針

今年度は診療報酬改定年度であり内容については新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築【重点課題】を柱にした改定となる見込みです。また、地域医療の拠点として、当法人がもっている施設機能を活かした様々な医療・福祉活動に取り組むとともに、経営組織のガバナンス（統治）の強化や安定的な財務基盤の確立を図り、従来通り施設利用者の方々や地域住民に信頼される医療・環境に心がけ、法人の理念である「心の医療と福祉」に努める。

寿楽荘事業計画

I 基本方針

施設に求められる介護サービスの質を担保するため、人員の増配置を現場からも望まれていますが、法人の安定運営を目指すうえで人件費率の抑制は不可欠となります。しかし賃金の抑制や人員の削減だけが対策ではなくサービス活動収益を増やすことも手段の一つであり、如何に年間利用者延べ人数および利用者一人当たりの単価を増やすかがカギです。それは稼働率の上昇と各種加算の算定といえます。具体的な数値目標としては、年間退所者数約 50 名及び定員割れ数約 30 名をあわせた約 80 名に

対し、毎月 7 名の入所を確保することや、ICT 機器の活用による骨折や誤嚥事故の予防で年間入院者数を 10%削減することで稼働率に結びつけることを目指します。また、利用者一人当たりの単価増のため、令和 3 年 4 月に施行された科学的介護の ADL 維持加算に取り組むべく体制の整備として、現場職員によるバーセルインデックス評価も行っていきます。この数値目標はオミクロン株の強力な感染力による高齢者施設のクラスターリスクも高め、エッセンシャルワーカーである施設職員の身体・精神両面の負担も高める諸刃の剣ともなりますが、前年度までに培ってきたゾーニングや PPE 着脱訓練など感染症対策の経験を活かし、利用者にも職員にも安心と安定を提供できる運営を目指します。

令和 2 年度の不適切な介護サービスについては、育児・介護に関する規則やハラスメント防止に関する規程の整備により、現場職員のストレスや不安感の解消を図りながら業務改善計画に則り、町の指導・助言のもと改善を目指します。

琴清苑 事業計画

I 基本方針

前年度、新型コロナウイルス感染症との攻防が、1 年以上に渡り続きました。コロナウイルスワクチン予防接種や各種感染予防対策の徹底が図られました。

令和 4 年度はコロナウイルスとの共存を図りながら、社会活動が低迷しないように運営を行ってまいります。通常目標通りの運営を行う事により、借入金の返済、人件費割合の引き下げ、施設稼働率の目標値の達成等により、安定した収入を得て収支のバランスが取れた施設運営を行ってまいります。

介護職員の求人状況は厳しい状況が続き、優良な職員の採用がほとんど見込めない状況になっております。職員の人材確保につきましては、随時採用していくと共に、EPA 介護福祉士候補生や技能実習生の雇用を続けて、安定した人員の確保を行って職員負担の少ない運営を行ってまいります。新築移転から 1 年過ぎました。業務が徐々に安定してまいりました。施設機能を十分に活用した個別援助を業務の中心に置き、職員各自が法人の理念である「心の福祉」を実践し、温かい利用者援助を行ってまいります。

氷川保育園 事業計画

1. 保育理念

社会福祉法人双葉会の理念「心の福祉」を原点に、心身とも健やかに豊かな人間性を持った子どもが育成されるように努めます。

2. 保育目標

- ① 感謝（ありがとうの保育）
- ② 慈悲（思いやりの保育）
- ③ 畏敬（ものを大切に保育）

3. 保育方針

- ① 奥多摩の四季折々の自然を通して、子どもたちに様々な経験を積ませ、その中から心身ともに成長していける保育を目指す。
- ② 一人ひとりの個性や自主性を大切にした保育の実践。
- ③ 地域における児童福祉の向上と、保護者の就労に寄与し、保育サービスを提供する。